



# 学校だより

(1月号) 平成31年1月8日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

## 【学校の教育目標】

- ◎ 夢 (ゆめ) にむかって ともに学びあう学校
  - ・進んで勉強する子
  - ・自分からあいさつのできる子
  - ・仲よくたすけあう子
  - ・じょうぶな子

《今月の生活目標》感謝して 給食を食べよう



## 成らぬは人の為さぬなりけり

校長 河井 尚

新年 明けましておめでとうございます。保護者や地域の皆様、2019年を健やかに迎えられることと思います。さて、しびらきっ子の皆さんは、今年の目標は立てたでしょうか。冬休みのある日、公園でキャッチボールをしている父子の次のような会話を耳にしました。

**息子「ほく、大谷選手みたいになれるかな？」**

**父「なろうと思っても、なれるもんじゃないよ。でも、なろうと思わなかったら、何にもなれないよ。」**

この父子の会話を聞いて、いくつかの名言を思い出しました。次にご紹介しましょう。



まず、江戸時代中期、米沢藩主であった上杉鷹山が米沢藩の家臣団に教訓として彼が詠み与えたという有名な名言。

「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」  
(やればできる。やらなければできない。何事も、できないのは人がやらないからだ。)

この鷹山の言葉のモデルとなったとされる武田信玄の名言も紹介しましょう。

「為せば成る、為さねば成らぬ成る業を、成らぬと捨つる人の夢 (はかな) き」(強い意志を持って取り組めば必ず実現できる。一方、取り組まなければ何事も実現できない。努力すればできることであっても、最初から無理だと諦めてしまうところに、人の弱さがある)



さらに、吉田松陰寅次郎。「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」松陰の名言をもうひとつ。「一日一字を記さば一年にして三百六十字を得、一夜一時を怠らば、百歳の間三万六千時を失う。」

目標や夢をもつ大切さ。そして願いや希望を達成するには、やる気と日々の継続した努力、あきらめない強い心が必要なのです。名言や格言は、自分の心に落とし込み、実践・実行につなげてこそ価値があるものです。

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」と言います。「夢・希望」に向けて努力し、「努力」することで次のステップに向けた「新たな夢や希望」が見えてくるはずです。

今年は「亥年」。ちなみに亥(猪)は、猪肉の栄養価が高く病気予防になることから、無病息災の象徴とされています。また、風水でも亥は、無病息災の象徴であり、目標に向かって猛進して人を助ける「火の神の化身」とされているそうです。学習や運動、習い事等で成果が得られる年だといえそうです。鷹山、信玄、松陰の言葉を胸に、素敵な1年にしてください。